



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月9日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名
 コード番号 7975 URL http://www.lihit-lab.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中宏和
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)大内高明 (TEL)06(6946)2525
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	4,869	2.2	△22	—	16	△89.9	13	△85.2
27年2月期第2四半期	4,764	2.1	102	△55.0	163	△49.7	88	△55.1

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 256百万円(166.2%) 27年2月期第2四半期 96百万円(△73.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	0.78	—
27年2月期第2四半期	5.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	13,104	8,769	66.9
27年2月期	13,149	8,597	65.4

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 8,769百万円 27年2月期 8,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	2.3	20	—	50	△75.1	30	△67.2	1.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期2Q	19,078,500株	27年2月期	19,078,500株
28年2月期2Q	2,096,224株	27年2月期	2,094,668株
28年2月期2Q	16,983,098株	27年2月期2Q	16,986,060株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年3月1日～平成27年8月31日）の我が国経済は、大企業・輸出関連企業等を中心に企業収益や雇用環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調にあるものの、中国経済や新興国経済の減速等により不透明な状況下にあります。

当業界におきましては、個人需要は、高機能製品や高付加価値製品が市場に浸透し、堅調を維持いたしました。法人需要は依然として経費削減等の流れが強く、回復が進まない状況が継続しております。また、コスト面では、円安による原材料価格の高騰等でコストが大幅に上昇する一方、市場価格への転嫁が進まない等一層厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、事務用品等事業において「良い品はお徳です」をモットーに、パーソナルユース系の製品を拡充、魅力ある新製品を投入してまいりました。

製品シリーズでは、AQUA DROPs（アクアドロップス）、1/3（ワンサード）インチピッチシリーズ、SMART FIT（スマートフィット）、机収納シリーズ等、個人需要を中心に売上を拡大いたしました。また、新たに発表した収納整理アイテムのプチとじ、SMART FITブライトレーベル、THE DESIGN MIND COMPANY（ザ デザイン マインド カンパニー）レザーイメージ・フラワーイメージシリーズも順調に売上を伸ばしました。海外向けでは、AQUA DROPsシリーズを中心に総じて売上を拡大いたしました。

法人需要は、価格競争による低価格化や、別製品受注が苦戦を強いられる等伸び悩みました。また、病院向け用品は、市場全体の低価格化の進行と需要の伸び悩みにより売上は低調となりました。

以上の通り、事務用品等事業は、新製品の投入効果や海外売上の増加等により増収となりました。

また、不動産賃貸事業は、テナント賃貸収入等の減少により若干の減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、48億6千9百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

利益面につきましては、製品価格引き上げの市場への浸透の遅れ等に加え、ベトナム生産子会社の生産増強、部材の内製化、製品・原材料の調達先の見直し等による製造原価の低減を進め、経費の抑制に努めましたが、一段と進行した円安による製品・原材料価格の高騰等により、2千2百万円の営業損失（前第2四半期連結累計期間は営業利益1億2百万円）、経常利益は外貨建て債権等の為替差益3千1百万円を計上したこと等により1千6百万円（前年同期比89.9%減）、四半期純利益は1千3百万円（前年同期比85.2%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同期比増減（%）
フ ァ イ ル	1,647	33.8	1.7
バインダー・クリヤーブック	1,108	22.8	3.6
収 納 整 理 用 品	1,389	28.5	7.2
そ の 他 事 務 用 品	552	11.4	△7.2
事 務 用 品 等 事 業	4,697	96.5	2.5
不 動 産 賃 貸 事 業	171	3.5	△6.8
合 計	4,869	100.0	2.2

【事務用品等】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

<ファイル部門>

ルーパーファイル、リングファイル、カラークリヤーホルダー、パンチレスファイル<HEAVY DUTY（ヘビーデューティ）>、リクエスト・D型リングファイル等は、堅調な売上となりました。一方、法人需要は、総じて伸び悩みました。その結果、ファイル部門の売上高は16億4千7百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

<バインダー・クリヤーブック部門>

リクエスト クリヤーブック<ポケット交換タイプ>、AQUA DROPsシリーズのクリヤーブック、クリヤーポケット、1/3（ワンサード）インチピッチシリーズ及びフラワーイメージシリーズのツイスト・ノートが好調な売上となりました。その結果、バインダー・クリヤーブック部門の売上高は11億8百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

<収納整理用品部門>

綴じるアイテムに新提案として投入しました、穴をあけてしっかり綴じるパンチ&とじ機のプチとじ、フラワーイメージシリーズポイントカードホルダー、SMART FITシリーズのキャリングポーチのプレミアム仕様の限定色、キャリングバッグ、バッグ・イン・バッグ、ペンケース、机収納シリーズの机上台等が好調に売上を伸ばしました。その結果、収納整理用品部門の売上高は13億8千9百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

<その他事務用品部門>

病院向けメディカル用品等をはじめとする既存製品の売上が伸び悩み、その結果、その他事務用品部門の売上高は5億5千2百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は、46億9千7百万円（前年同期比2.5%増）となり、利益につきましては、円安に伴う調達コストの大幅な上昇により5千2百万円の営業損失となりました。

【不動産賃貸】

不動産賃貸事業は、市況低下による影響に加え、本社ビルの貸室稼働率が低下したこと等により、売上高は1億7千1百万円（前年同期比6.8%減）となり、営業利益は3千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ4千5百万円減少し、131億4百万円となりました。これは主として、投資有価証券の増加等により固定資産が2億8百万円増加した一方、受取手形及び売掛金の減少等により流動資産が2億5千3百万円減少したことによるものであります。純資産は1億7千1百万円増加し、87億6千9百万円となり、その結果自己資本比率は66.9%となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが5億7千9百万円の資金の増加となったこと等により、前連結会計年度末に比べ2億5千2百万円増加し10億7千6百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、5億7千9百万円となりました。これは主として減価償却費、売上債権の減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、8千4百万円となりました。これは主として生産設備等の有形固定資産の取得等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、2億4千3百万円となりました。これは主として長期借入金の返済、配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の通期業績予想につきましては、平成27年10月9日付で公表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、下記のように修正いたします。

平成28年2月期 連結業績予想数値の修正（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,400	140	160	100	5.89
今回修正予想 (B)	9,400	20	50	30	1.77
増 減 額 (B-A)	0	△120	△110	△70	
増 減 率 (%)	0.0	△85.7	△68.8	△70.0	
(ご参考) 前期実績 (平成27年2月期)	9,186	△36	200	91	5.38

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、第1四半期連結会計期間から適用しております。なお、退職給付債務及び勤務費用の計算方法は、期間定額基準によっており従来の計算方法と変更はありません。また、割引率の決定方法は、割引率決定の基礎となる債券の期間について、従来、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法によっておりましたが、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱い（過去の財務諸表に対しては遡及しない）に従っております。なお、当第2四半期連結累計期間の期首における利益剰余金の増減はありません。

この結果、従来の会計処理の方法によった場合に比べ、当該会計基準を適用することによる税金等調整前四半期純利益及びその他重要な項目に対する影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	824,914	1,076,929
受取手形及び売掛金	1,825,670	1,491,286
商品及び製品	1,587,704	1,500,009
仕掛品	67,728	55,203
原材料及び貯蔵品	862,135	826,517
繰延税金資産	63,617	72,937
その他	133,977	88,282
貸倒引当金	△3,905	△3,102
流動資産合計	5,361,843	5,108,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,645,362	2,597,392
機械装置及び運搬具（純額）	726,540	696,693
土地	2,925,180	2,925,180
リース資産（純額）	308	—
その他（純額）	134,731	115,990
有形固定資産合計	6,432,123	6,335,257
無形固定資産	51,293	46,915
投資その他の資産		
投資有価証券	899,661	1,226,421
その他	412,123	396,170
貸倒引当金	△7,194	△8,697
投資その他の資産合計	1,304,589	1,613,894
固定資産合計	7,788,007	7,996,067
資産合計	13,149,850	13,104,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	822,873	778,579
短期借入金	529,000	463,000
リース債務	394	—
未払法人税等	23,365	21,254
賞与引当金	114,371	106,527
役員賞与引当金	11,350	10,435
その他	463,403	396,723
流動負債合計	1,964,758	1,776,519
固定負債		
長期借入金	916,000	824,000
繰延税金負債	203,476	291,455
役員退職慰労引当金	157,554	159,611
退職給付に係る負債	1,065,453	1,047,048
その他	244,613	236,115
固定負債合計	2,587,098	2,558,230
負債合計	4,551,856	4,334,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	5,364,422	5,292,712
自己株式	△398,106	△398,402
株主資本合計	8,208,177	8,136,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,975	578,691
繰延ヘッジ損益	7,786	840
為替換算調整勘定	171,626	179,697
退職給付に係る調整累計額	△128,570	△126,018
その他の包括利益累計額合計	389,816	633,211
純資産合計	8,597,994	8,769,383
負債純資産合計	13,149,850	13,104,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	4,764,751	4,869,004
売上原価	3,258,569	3,514,706
売上総利益	1,506,182	1,354,298
販売費及び一般管理費	1,403,252	1,376,318
営業利益又は営業損失(△)	102,929	△22,020
営業外収益		
受取利息	604	438
受取配当金	7,768	7,755
受取保険金	5,239	3,134
為替差益	45,869	31,838
雑収入	13,383	6,099
営業外収益合計	72,865	49,267
営業外費用		
支払利息	7,817	6,763
雑損失	4,814	4,042
営業外費用合計	12,632	10,806
経常利益	163,162	16,440
特別損失		
固定資産廃棄損	4,037	1,809
特別損失合計	4,037	1,809
税金等調整前四半期純利益	159,124	14,630
法人税、住民税及び事業税	60,465	17,599
法人税等調整額	9,687	△16,178
法人税等合計	70,152	1,421
少数株主損益調整前四半期純利益	88,972	13,209
四半期純利益	88,972	13,209

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	88,972	13,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91,626	239,716
繰延ヘッジ損益	△16,675	△6,945
為替換算調整勘定	△67,525	8,071
退職給付に係る調整額	—	2,552
その他の包括利益合計	7,424	243,394
四半期包括利益	96,397	256,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,397	256,604
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	159,124	14,630
減価償却費	210,225	200,978
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△465	824
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,941	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△4,629
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,049	2,057
受取利息及び受取配当金	△8,372	△8,194
支払利息	7,817	6,763
固定資産廃棄損	4,037	1,809
売上債権の増減額(△は増加)	301,450	334,383
たな卸資産の増減額(△は増加)	112,798	145,814
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,809	△42,752
その他	47,871	△60,524
小計	810,688	591,161
利息及び配当金の受取額	8,372	8,194
利息の支払額	△7,808	△6,705
法人税等の支払額	△85,112	△13,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	726,140	579,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△151,345	△88,994
無形固定資産の取得による支出	—	△1,047
投資有価証券の取得による支出	△580	△591
投資有価証券の売却による収入	—	1,000
その他	14,993	5,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,933	△84,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△158,000	△158,000
自己株式の取得による支出	△278	△296
配当金の支払額	△85,018	△85,173
その他	△840	△394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244,137	△243,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	△926	718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	344,143	252,015
現金及び現金同等物の期首残高	1,221,040	824,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,565,183	1,076,929

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,580,755	183,996	4,764,751	—	4,764,751
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	828	828	△828	—
計	4,580,755	184,824	4,765,580	△828	4,764,751
セグメント利益	58,041	44,887	102,929	—	102,929

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,697,550	171,453	4,869,004	—	4,869,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	815	815	△815	—
計	4,697,550	172,269	4,869,820	△815	4,869,004
セグメント利益又は損失(△)	△52,966	30,945	△22,020	—	△22,020

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。